

一般社団法人 電子情報通信学会

明治44年5月に、逓信省電気試験所第2部に「第2部研究会」が誕生したことに始まる。5つのソサイエティ(基礎・境界、NOLTA、通信、エレクトロニクス、情報・システム)と一つのグループ(ヒューマンコミュニケーション)から構成される。電子・情報・通信の研究技術者、エレクトロニクス、さらには近年のコンピュータと電気通信の融合を目指した情報通信に関する研究活動の活発化を反映して、会員数も逐次増加を重ねて、工学関係の学会としては我が国有数の大規模学会(会員数3万人)となっている。

創立100周年記念イベント

本学会が平成29年5月1日に創立100周年を迎えるにあたり、創立100周年記念事業の一環として、九州支部主催の記念イベントを開催する。

イベント内容

テーマ: 「ICTと防災・震災復興」

□プログラムⅠ: シンポジウム

- ・委員長挨拶/支部長挨拶
- ・基調講演
- ・パネルディスカッション
  - 地方自治体
  - インフラ企業
  - メディア企業
  - 金融機関
  - 学識経験者
  - ボランティア団体

総合司会: 西(崇城大教授)

コーディネータ: 星合(崇城大教授)

\* 震災の現状、防災・震災復興に果たすICTの役割・効果・課題、開発された情報システムなどについて討論する

□プログラムⅡ: 展示・体験コーナー

- ・キッズICT体験
- ・復興期支援イベント
- ・防災関連展示
- ・起業支援

\* 子供たちのICT体験、震災復興イベントなどの体験コーナーを併設する

\* 崇城大学SCB放送局によるインターネット放送、PV制作を行う

\* 地域活性化のプラットフォームである「SCBプラットフォーム」上で既に展開・連携している活動を中心に展示・体験コーナーを実施する

主催

- ・電子情報通信学会九州支部
- ・電子情報通信学会九州支部「ICTと防災・震災復興」実行委員会

協賛・後援

- ・総務省九州総合通信局、熊本市、合志市 御船町、崇城大学、KKT、KAB、熊本信用金庫 NTT西日本、NEC-SI
- ・平成29年11月18日(土)
- ・国際交流会館、NTT西日本熊本支店、崇城大学SCB放送局新市街スタジオ
- ・参加者数: 500名(見込み)

主催・開催日・場所

崇城大学SCB放送局  
新市街スタジオ

<http://conceptlab.jp>



NTT西日本  
熊本支店  
復興期支援  
イベント



実行委員会の設立

実行委員会名: 電子情報通信学会九州支部  
「ICTと防災・震災復興」実行委員会

メンバー: (厳秘)

- 委員長 中山峰男(崇城大学学長)
- 委員長代行 星合隆成(崇城大学教授・早稲田大学招聘研究員)
- 委員 大西一史(熊本市長)
- 委員 荒木義行(合志市長)
- 委員 藤木正幸(御船町長)
- 委員 右田聖秀(NTT西日本九州事業本部設備部長)
- 委員 上田健次(NECソリューションイノベータ統括マネージャ)
- 委員 品川良照(熊本信用金庫理事長)
- 委員 片岡朋章(KKT:くまもと県民テレビ社長)
- 委員 磯松浩滋(KAB:熊本朝日放送社長)
- 委員 (防災研究所)(予定)
- 委員 浅川浩二(自然災害サイバーレスキューチーム)
- 委員 小保方貴之(新市街商店街組合・コンセプトラボ(株))
- 委員 内藤豊(SCB復興期支援プラットフォーム)
- 委員 山川烈(崇城大学副学長)
- 委員 西宏之(崇城大学情報学部長)
- 委員 木村義政(崇城大学教授)

目的: 「ICTと防災・震災復興」イベント推進に向けての最終議決機関

開催日: 委員会の傘下にTF(タスクフォース)を設置し、実際の議論はTFにおいて実施する(月1回程度の定例会を開催予定)

場所: 崇城大学SCB放送局新市街スタジオ

展示・体験・イベントコーナー

キッズICT体験コーナー

- ・プロジェクションマッピング
- ・VR歩行
- ・IT自転車
- ・ロボットプログラミング
- ・ラジオ工作
- ・ハコスコ
- ・声優体験
- ・放送局体験(アナウンサー・リポーター)

サポータ

- ・テックフェスくまもと(社)アプリーグ
- ・くまもと県民テレビ夢まちランド
- ・崇城大学SCB放送局
- ・SCBパッチワークス
- ・SCB自転車塾・熊本市競輪場
- ・信学会SOJO学生ランチ
- ・SCB協議会

復興期支援イベント

- ・20程度のアクティビティ(健康・リフレッシュ・学び・起業支援)

サポータ

- ・SCB復興期支援プラットフォーム
- ・NTT西日本熊本支店
- ・金融機関

市民・NTT-W/NEC-SI  
崇城大学情報学科

崇城大学SCB放送局  
新市街スタジオ

ICTキッズ体験



地域コミュニティブランド(SCB): 地域活性化・コミュニティビジネス創発のための新たな理論 (<http://conceptlab.jp/>)

□ 地域活性化のためのプラットフォーム(PF)を導入(従来は課題解決型)

□ PFの構築・運営や地域コミュニティの形成にP2P技術を活用(PF同士の連携にもP2P技術を活用)

□ 繋がりをブランディングすることでブローカレスでの地域コミュニティを構築(P2P技術で人的ネットワークや地域資源の繋がりを実現)

## 人・施設・活動をP2P技術により有機的に繋げる

- ・SCB-PF上に活動を展開
- ・活動同志をP2P技術により有機的に繋げる

アプリ層



テックフェス & NASAハッカソン



技術者集団 アプリリーグ

テックフェスKIDS



KKT夢まちランド (キッズICT体験)

熊本信用金庫

金融機関 & 起業塾



熊本市競輪活性化委員会 3196PF

自転車塾



SCB復興期支援PF & NTT

新市街商店街

こども商店街 (キッズICT体験)

声優塾



子供囲碁研究会

熊本ヴォルターズ



アグリカルチャー 農業塾・ハナウタ

熊本市MICE 活性化委員会

SCB協議会 コンセプトラボ(株)

ポップカルチャー・サブカル

ナッセ・熊日新聞

こども遊園地 (KIDS プログラミング)

TED x Kumamotoshi

KAB: 熊本朝日放送 KKT: くまもと県テレビ

崇城大学 パッチワークス

熊本市MICEアクティビティ

電子情報通信学会100周年記念イベント

IEIEC SOJO ブランチ (シンポジウム)

ミドル層

地域コミュニティプラットフォーム(SCB-PF)

- ・SCB-PFをP2P技術により構築し、PF同士を有機的に繋げる
- ・ハード層を仮想化(隠ぺい)
- ・地域活性化の共通機能(最大公約数)をアプリ層に対して提供

ハード層

・施設をピアとして仮想化し、P2P技術により有機的に繋げる

金融機関施設など

熊本市MICE

NTT西日本 光スクエア



SCB放送局 新市街スタジオ



SCBスタジオの目的

- ・SCB理論の普及、実証実験
- ・放送設備の活用
- ・SCBプロジェクトの支援
- ・学びの場の提供